

IBA だより

第19号

《茨城県吹奏楽指導者協会》

令和6年9月3日発行

発行人 茨城県吹奏楽指導者協会会長 梶原 征剛
事務局 つくばみらい市谷井田 1635-5 本間 晃司

「ソロコンテストいばらき」で思うこと

茨城県吹奏楽指導者協会 会長 梶原 征剛



私たち「茨城県吹奏楽指導者協会」(IBA)が主催している、「ソロコンテストいばらき」はコロナの影響を受けた1年を除き、毎年開催して参りまして、今回で27回目を迎えました。

今では、これまでの歩みと実績で吹奏楽界での大きなイベントである、「吹奏楽コンクール」や「アンサンブルコンテスト」と同じように確固たる地位を築けたと思っております。そして、この中から、県の代表として選ばれた人たちが、関東甲信越大会を始め全国大会においても優秀な成績を収めるなど、その質の高さに私はいつも驚かされています。

その一つの証しとして、このソロコンテストの出身者が、現在、プロの演奏家として、何人もTVやFM放送などで活躍している姿を見たり聴いたりする度に、私はこのコンテストが質・量ともに、全国でも抜きん出たレベルをもつまでに成長したと思っています。

ここで、参加者の皆さん方へ、私が「ソロコンテストいばらき」で日頃から思っていることを、この場をお借りしてひと言申し上げます。それは、皆さんが、今、手にしている楽器をこれからもずっと続けていって欲しいと強く願っていることです。

例えば、学校が変わることで楽器をやめてしまうなどは、実にもったいなくて残念でなりません。どの楽器も上達するには大変な努力を必要とするのは当然ですが、しかし、日頃のひたむきな練習でわずかな上達を生み、さらに続けることで「継続は力なり」と言う諺(ことわざ)にもあるように、練習量が次の大きな上達を可能にしてくれるものなのです。また、それと同時に、楽器を通して音楽のいろいろな知識を吸収できることも、自分にとって大きな財産となります。

これまで仲良くしてきた楽器を、これからも生涯の友として一緒に歩いていくことができれば、「こんなに素晴らしいことはない!」と、私は思うのですが、皆さん方はどのように思われますか…?

話は変わりますが、ここで、指導をされている先生方へお願いがあります。この「IBA だより」の投稿は児童・生徒たちに向けて書いています。是非とも、子どもたちにも読んで欲しいのでご配慮のほどをお願いいたします。

末筆になりましたが、この「ソロコンテストいばらき」の発足以来ご支援を賜っております「(公財)げんでんふれあい茨城財団」の方々へ厚く感謝申し上げますとともに、今後とも、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

(茨城大学名誉教授)

令和5年度 受賞者の声



第26回 ソロコンテストいばらき(県大会)げんでん音楽大賞受賞者

♪音楽の楽しさを知ったソロコンテスト 水戸市立常磐小学校 中嶋 愛里 (FI)

初めてのソロコンテスト。練習が始まり、曲をどのように奏でて伴奏と合わせるかを目標として練習していました。曲を吹いていくうちに、音がうまく出ていないところや指が回らない自分の弱点が見え、先生に吹けないところのコツや、表現の仕方を教えてもらいながら練習に励みました。

舞台裏に立った時は、とても緊張しましたが、演奏が始まるとあっという間で、終わった時は、清々しい気持ちになりました。結果は、「金賞」「げんでん音楽大賞」をいただくことができました。とても嬉しかったです。

音楽はこんなにも楽しいことなんだと改めて知ることができたので、もっと心にひびく演奏ができるよう練習に励んでいきます。



♪夢に向かって 日立市立大久保中学校 遠藤 真央 (FI)

この度「げんでん音楽大賞」を受賞することができ、大変嬉しく思います。

1年生のときに出場したソロコンテストでは、「金賞」をいただくことができましたが、その先に進むことはできませんでした。その後、県代表の方の演奏を聴きに行き、レベルの差を痛感しました。それから1年間、関東甲信越大会に出場することを目標に日々練習に取り組み、今回、その目標を叶えることができました。更に、「げんでん音楽大賞」をいただくことができました。

目標を叶えることができたのも指導して下さった先生、支えてくれた周りの人達のおかげです。これからも周りの人に感謝して、心に響く演奏ができるように努力し続けます。



♪自分らしい音を目指して 茨城県立水戸第二高等学校 菊池 芽衣 (FI)

この度「げんでん音楽大賞」を受賞できたことをとても嬉しく思います。

関東甲信越支部大会で演奏する機会をいただいたのは、中学2年時以来2度目でした。中学校で吹奏楽部に入りフルートを始めた私は、前回、同年代の参加者のハイレベルな演奏に刺激を受け、もう一度上を目指して挑戦したいという思いで今回のコンテストに臨みました。高校生になり練習時間も限られている中で、思うように吹けないもどかしさを感じることもありましたが、演奏する楽しさを感じながら、また一つ視野を広げる貴重な機会となりました。さらに、たくさんの方々に声を掛けていただけたことは、私にとって大きな励みになりました。

お世話になった方々に感謝の気持ちを忘れず、人の心に届く演奏を目指して日々精進していきたいです。



第22回 JBA 関東甲信越支部中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト 加藤明久賞受賞者

♪ソロコンテストに参加して 茨城県立佐和高等学校 大山 里緒奈 (Tp)

全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト関東甲信越支部大会に出場し、「審査員加藤明久賞」を受賞することができました。この大会への出場は私にとって大きな挑戦であり、新たな経験と学びが詰まった貴重な時間でした。

コンテストに挑む前は緊張と期待が入り混じった心境でした。演奏の準備を重ねる中で、楽譜の細部まで注意を払い、音楽の表現を磨くために日々努力を重ねました。その成果が少しでも審査員や観客の皆さんに伝わるように、丹念に練習を積んできました。

ステージに立った瞬間、緊張と喜びが入り混じりました。指先から楽器へと伝わる振動、音色を自分の感情で表現するたびに、私の心も楽曲に共鳴しました。審査員の方々がじっくりと演奏を聴いてくださる様子に、緊張しつつも自信をもって演奏に臨むことができました。

そして、結果発表の瞬間。名前が呼ばれた瞬間、感謝と感動が心を満たしました。「加藤明久賞」をいただけたことは、私にとって大きな励みとなりました。審査員の方々、応援して下さった皆様、家族や先生方に深く感謝申し上げます。この経験は私の音楽への情熱をより一層深め、将来の演奏家としての道を歩む意欲を高めることとなりました。

全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト関東甲信越支部大会への参加は、私にとって貴重な経験となりました。この舞台で得た刺激と学びを胸に、これからも音楽と共に歩んでいきたいと思えます。



第22回JBA関東甲信越支部中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト

JBA関東甲信越支部茨城県部会 事務局長 古井 忍

令和6年2月18日(日)昭和音楽大学ユリホールで行われた関東甲信越支部大会で、中学生部門に神保朋花さん(CI 取手二中)、江藤愛桜さん(FI 結城中)、遠藤真央さん(FI 大久保中)、菅谷咲輝さん(Per 水戸一中)、高校生部門に塚田笑菜さん(FI 大成女子高)、菊池芽衣さん(FI 水戸二高)、大山里緒奈さん(Tp 佐和高)、郡司柑太郎さん(CI 水戸一高)、小学生の特別演奏として中嶋愛里さん(FI 常磐小)が茨城県代表として出演され、技術・芸術両面において日頃の練習の成果を発揮されました。

高校生の部では、『スラブ幻想曲』を演奏した佐和高等学校の大山里緒奈さんが、トランペットの音色を十分に響かせ、「審査員加藤明久賞」を受賞されました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで入場制限がなくなり、たくさんの方々に演奏を聴いていただくことができました。ソロコンテスト事業を通して、今後も豊かな音楽表現の手助けとなるよう 努めてまいります。

<令和6年度ソロコンテストいばらき日程(予定)>

- ソロコンテスト一次審査 R6.12/7(土)・8(日)・14(土) ひたちなか市文化会館
 ○ソロコンテスト県大会 R7.1/18(土)・19(日) 東海文化センター

昨年度の一次審査は県内5地区から367名の参加があり、3日間延べ18名の審査員で実施しました。県大会は会場を昨年度同様に東海文化センターで実施いたしました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されたことで、4年ぶりに観客制限なしでの通常の開催で、表彰式も実施することができました。

小学生・中学生・高校生の各部門で、皆さん方が日頃の練習成果を発揮し、素晴らしい演奏発表が披露されました。それぞれの出場者が金賞・銀賞・銅賞のいずれかを受賞しました。

また、「(公財)げんでんふれあい財団」より特別賞として、「げんでん音楽大賞」を小・中・高の各部門で各1名が、「げんでん音楽賞」を小学生3名、中学生6名、高校生5名が受賞しました。

今年度は昨年度をさらに上回る数多くの皆さんが参加され、素晴らしい演奏を聴かせてくださることを期待しています。

※一次審査のCDの処理について

地区担当者にCDを送付する際、一次審査要項をよく確認するようお願いいたします。

※県大会の演奏について

県大会はステージ演奏を予定していますが、感染症の状況によっては音源録画データによる審査に変更する場合も考えられます。ご理解いただけますようお願いいたします。

※「IBA だより」は茨城県吹奏楽指導者協会 (IBA) の HP より過去の文書も含めてダウンロードできます。

<令和5年度 第26回ソロコンテストいばらき 一次審査参加者数・県大会出場状況>

	一次審査		県大会			一次審査		県大会			一次審査		県大会											
	県東	県南	県西	県北		県東	県南	県西	県北		県東	県南	県西	県北	県東	県南	県西	県北						
小学生の部	0	0	0	0	中学生の部	24	5	高校生の部	18	11	小学生の部	0	0	中学生の部	55	15	高校生の部	20	12					
	0	0	2	1		80	25		18	10		0	0		26	6		11	7					
	9	6	74	23		30	17		0	0		74	23		30	17		0	0					
	11	7	259	74		97	57		11	7		259	74		97	57		11	7					

「げんでん財団」は

地域文化の振興 ふれあいとゆとりのある

地域社会の発展に寄与します

公益財団法人

げんでんふれあい茨城財団

日本原子力発電(株) 茨城事務所内(水戸市笠原町 978-25) TEL: 029-287-1251